

(公募 B)

2026 年 7 月 31 日

関係各位

国際文化学部長
稲垣 立男
(公印省略)

専任教員の公募について(依頼)

このたび法政大学国際文化学部では、下記の要領で専任教員を募集することになりました。つきましては、関係者ならびに関係諸機関等にご周知くださいますようお願い申し上げます。

記

1. 職名 教授、准教授もしくは専任講師(常勤、任期なし)
2. 募集人員 1 名
3. 所属 法政大学国際文化学部
4. 担当科目 主に教養科目としての「朝鮮語」及び朝鮮語圏の文化関連科目。
国際文化学部の表象文化科目群の専門科目(映像、文学等)を意欲をもって担当できる方。
大学院国際文化研究科の専門科目も担当する可能性がある。
5. 研究分野 朝鮮語圏の文化、及び映像、文学その他の表象文化に関する人文科学諸分野の研究。
国際文化学部の学際的な特徴を踏まえた授業を展開でき、とりわけ表象文化科目群の専門科目(映像、文学等)を担当できる専門性を有する方。
6. 業務内容 主に市ヶ谷キャンパスにおける授業担当、スタディ・アブロード・プログラムの「SA 韓国」の事前指導と運営管理、および国際文化学部、市ヶ谷リベラルアーツセンターを含む大学の運営にかかわる業務全般。また大学院国際文化研究科(学位論文指導を含む)、スタディ・ジャパン・プログラムにかかわる業務を担当する可能性がある。
(変更の範囲)大学が定める業務
7. 応募資格 以下の条件をすべて満たすこと。
 - (1) 博士の学位、もしくは博士の学位と同等の資格・業績を有する方。
 - (2) 「法政大学の理念・目的」や「法政大学ダイバーシティ宣言」等に示された本学の理念や方針を理解した上で、熱意をもって学生の教育・指導に従事できる方。
 - (3) 所属する国際文化学部の業務のみならず、市ヶ谷キャンパス全体の朝鮮語カリキュラム編成等の業務に主体的に携わっていただける方。
 - (4) 日本語話者向けの朝鮮語文法体系(語基式文法)を理解する方。
 - (5) 本学および本学部の業務に積極的に取り組める方。特に本学部の韓国におけるスタディ・アブロード・プログラムでの指導や引率を担当できる方。
 - (6) 日本語を第一言語としない場合は、会話能力に加え、教育・研究および大学運営に携わる上で十分な日本語の読解力・文章作成能力を有することが、履歴書や研究業績等から確認できる方。
8. 採用年月日 2027 年 4 月 1 日

9. 労働条件・待遇

(1) 雇用形態等

- ・ 職種：専任教員
- ・ 契約期間：任期なし
- ・ 試用期間：なし

(2) 勤務時間

法定労働時間を超えない範囲で、教育・研究活動等の必要に応じて出校する。

(参考：2024 年度以降の授業時間割は以下参照。なお、時間割は変更される場合がある。)

URL <http://www.hosei.ac.jp/campuslife/guide/gakuji/jikanwari/>

(3) 給与

年収：500 万円～

本学規定に則り支給する(経歴により異なる)。

- ・ 概算年収 500 万円以上は初任給(24 歳)をもとに記載
- ・ 30 歳 年収 650 万円以上(2026 年度見込額)
- ・ 33 歳 年収 720 万円以上(2026 年度見込額)

(4) 待遇ほか

- ・ 昇給／賞与／退職金／通勤交通費支給／定年制度：本学規定による。
- ・ 健康保険：法政大学健康保険組合
- ・ その他(厚生年金保険・労災保険・雇用保険・介護保険等)：法の定めるところにより加入する。
- ・ 受動喫煙防止のための取り組み：全館禁煙(喫煙場所を除く)

(5) 主な勤務地

東京都千代田区富士見 2-17-1 (法政大学市ヶ谷キャンパス)

(変更の範囲)大学が定める場所

10. 応募書類

以下の書類(1)～(5)をすべて提出すること。

(1) 履歴書と教育研究業績書

国際文化学部指定の履歴書の書式(Word ファイル)と教育研究業績書の書式(Excel ファイル)を、法政大学公式サイトの採用情報ページ(下記 URL 参照)からダウンロードした上で、すべての項目に記入すること。履歴書には必ず写真を貼付すること。

URL https://www.hosei.ac.jp/saiyo/kokusaibunka_bosyu

(2) これまでの研究内容と今後の研究計画について、1200 字程度の日本語でまとめたもの。

(3) 朝鮮語教育の現状に対する見解、ならびに着任後の朝鮮語教育についての抱負を 1200 語程度の朝鮮語でまとめたもの(日本語訳も添えること)。

(4) 主要研究業績 3 点

- ・ 著書や博士論文の場合は、タイトルページ、目次、序章、結論、および主要な1章を提出すること。なお、選考の過程で著書や博士論文全体の提出を求めることがある。
- ・ 翻訳を主要研究業績として提出する場合、原文のコピーも添付すること。単行本として刊行された翻訳を主要研究業績の1つとする場合、タイトルページ、目次、および主要な1章の翻訳と、対応する原文のコピーを提出すること。

(5) 上記(4)の要約 3 点

各業績について、日本語による要約を A4 用紙 1 枚以内にまとめたもの。

11. 提出方法および提出先

(1) 提出方法

応募書類は、下記「(2)提出先」に記載されている Google フォームから PDF ファイルで提出すること。

(2) Google フォームに PDF ファイルをアップロードして送信するためには、Google アカウントを取得し、ログインする必要がある。

(3) 提出先

Google フォーム：【法政大学国際文化学部】2027 専任教員公募 B 応募書類提出用フォーム

URL <https://forms.gle/YfxTPKpsgwUZmowVA>

(4) PDF ファイルの作成および提出時の留意点

- ・ 上記「10.」に記載の応募書類(1)、(2)については、その順に1つのPDFファイルにまとめること。このファイルの名称は、「A_氏名.pdf」とする。
- ・ 上記「10.」に記載の応募書類(3)、(4)、(5)については、「A_氏名.pdf」のファイルとは別に、1つのPDFファイルにまとめること。このファイルの名称は「B_氏名.pdf」とする。
- ・ Google フォームの添付ファイルのサイズ上限は、1ファイルあたり10GB であるが、複数のファイルを添付することができる。応募者の作成したファイルのサイズが10GB を超える場合、10GB 未満の複数のPDFファイルに分けたうえで、下記の例のように、それぞれのファイルに付番すること。
例:「B_氏名.pdf」を複数のファイルに分ける場合、「B-1_氏名.pdf」「B-2_氏名.pdf」のようにファイル名をそれぞれのファイルに付ける。
- ・ 添付ファイルのアップロードがすべて終了したら、送信ボタンを必ず押すこと。

12. 応募締切 2026 年 9 月 4 日(金) 23:59

13. 選考方法

書類による一次選考と、面接による二次選考をおこなう。

- ・ 面接については、原則対面で行う。
- ・ 面接に必要な交通費を含む選考にかかる費用は、すべて応募者の自己負担となる。
- ・ 一次選考通過者に対しては、2026 年 10 月中旬までに連絡する。

14. 問い合わせ先

法政大学国際文化学部公募担当 B (27saiyob@ml.hosei.ac.jp) まで、件名に「(応募者氏名)専任教員公募 B についての問い合わせ」と記し、メールにて問い合わせること。電話での問い合わせには応じられません。

15. 備考

- (1) 応募時に提出された個人データは、選考の目的に限定して利用します。提出していただいたファイルは選考終了後に削除します。応募書類のデータ利用にかかる著作権法上の権利処理(共著者・出版社への許諾処理等)は、応募者の責任のもとに行ってください。
- (2) 採用が内定した方につきましては、学位を修得した事実を証明する公的な書類及び健康診断書等と共に、履歴書と教育研究業績書も再度ご提出いただきます。
- (3) 本学部では「法政大学ダイバーシティ宣言」の理念に基づいた人事選考を行っております。

法政大学ダイバーシティ宣言

https://www.hosei.ac.jp/hosei/daigakugaiyo/rinen/diversity/?auth=9abbb458a78210eb174f4_bdd385bcf54

以上